

開催月日 令和4年3月22日(火)

開催場所 第四中学校多目的室

令和3年度

第6回

調布市立若葉小学校・第四中学校

施設整備検討委員会

事務局 定刻となりましたので始めさせていただきたいと思います。本来であれば、2月10日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況が、急速に拡大している状況に鑑み、延期をさせていただきました。このため、開催が、本日、年度末のお忙しい時期となってしまいましたが、御出席いただきましてありがとうございます。

それでは、早速、委員会を進めさせていただきますので、これからの進行は吉村委員長にお願いしたいと思います。委員長よろしく願いいたします。

吉村委員長 皆さんこんにちは。大変寒い中、今日は少し湿っぽいですが、雪が降る中ありがとうございます。只今より、第6回調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会を始めたいと思います。

初めに、事務局にお伝えします。委員会の傍聴について許可をしますので、傍聴希望の方がいましたら入室をお願いします。

事務局 本日の傍聴希望の方はいらっしゃいません。以上です。

吉村委員長 それでは、次第にもありますように、本日の議題は1件となります。

今回が検討委員会の最終回ということで、これまで議論していただいた内容について、まとめを行う回となります。前回の検討委員会は年末でございました。しばらく時間が空いてしまいましたので、この間の議論の確認、あるいは振り返りもしながら、本日の委員会を進めていきたいと思っていますので、今回も御協力をよろしくお願いいたします。

今回、この回は、学校に求められる機能、役割といったものを整理しながら、学校関係者の皆様、地域の皆様の意見を踏まえて、この事業の実施に向けた条件を整えるということが今回の目的でございました。今日、第6回ということで、最終のまとめになっておりますので、また、何かあれば忌憚のない御意見を頂きたいと思います。

最初に参加委員数について、事務局から御報告をお願いいたします。

事務局 本日の出席委員については、小野委員、平岡委員、五十嵐委員の3名の委員から欠席の御連絡を頂いております。阿部委員、岡村委員については、まだこちらに到着していませんが、現時点での出席の委員数は13名となります。調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会設置要綱の第6、第2項に基づき、委員会は成立しています。以上です。

吉村委員長 ありがとうございます。

それでは、続きまして、本日の配布資料の確認を事務局からお願いいたします。

事務局 本日の資料について確認をお願いいたします。

まず初めに、資料番号の付番がありませんが、「第5回調布市立若葉小学校・第四中学校

施設整備検討委員会 次第」です。

本日の次第の下段を御覧いただきまして、【配布資料】の一覧を基に確認をお願いします。
本日の資料は2点となります。

- 資料1, A4縦両面刷り,第5回調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会概要
- 資料2, A4両面ホッチキス止め, 調布市立若葉小学校・第四中学校及び図書館若葉分館
施設整備基本構想(案)

以上が, 本日配布させていただきました資料となります。

吉村委員長 ありがとうございます。皆様, 資料の方は, よろしいでしょうか。

それでは, 次第の1, 第5回検討委員会の振り返りについて, 事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは, 第5回検討委員会の振り返りについて, 報告します。

資料1, 第5回調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会概要を御覧いただきまして, 令和3年12月21日に開催しました第5回検討委員会での会議の概要, 議事の要旨を記載していますので, 後ほど, 確認をいただきたいと思えます。

また, 第5回検討委員会では, 主に, 校舎内のゾーニングの考え方について整理していただきましたので, その議論の内容を踏まえたものを, 本日の議題でもあります, 基本構想(案)の説明の中で触れさせていただきますので, よろしくをお願いします。報告は以上です。

吉村委員長 資料1につきまして, いかがでしょうか。何か, 確認等がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。それでは, 確認したということで, 次に移らせていただきます。

次第の2, 議題に移ります。それでは, 議題の1, 調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備基本構想(案)について, 事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは, 議題の1, 調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備基本構想(案)について説明をさせていただきます。

前回の検討委員会に, 素案を提示させていただき, 2点ほど, 御意見をいただきましたので, まず初めに, 反映しました内容についてから説明します。

1点目としまして, 1ページ下段, (2)策定の目的の第2段落について, 現行の学習指導要領では, 社会に開かれた教育課程として, 「地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する」としていることから, 「安全・安心で地域に開かれた学校づくり」というくぐり, 「安全・安心で地域と共にある学校づくり」に改めました。

2点目としまして, 9ページ, (2)施設整備の基本方針と12ページ以降の「整備方針」との関連性がわかるような記載にした方が良くはないかとの御意見を頂きましたので,

9 ページ上段、資料に記載のとおり追記しました。

以上、御意見を頂きました2点につきまして、反映しました。

それでは、全体を通して、改めて説明します。

1 ページにお戻りいただきまして、1 の基本構想策定の背景と目的から始まり、次ページを御覧いただき、2 現況の(2) 児童・生徒数の推移(予測)には、令和3年度調布市教育人口等推計報告書から引用しまして、若葉小学校と、第四中学校の令和8年度までの推計を記載しました。

続きまして、4 ページ、若葉小学校と第四中学校の現在の配置図に、学校周辺の状況を撮影した写真を添付し、学校の周辺環境として掲載しました。

5 ページ、(5) 地域・地区要件等では、若葉小学校及び図書館若葉分館の敷地と第四中学校の敷地では、それぞれ、指定されている用途地域が異なるため、それぞれの敷地における制限等を記載しています。

また、(6) 本事業の計画及び実施に係る法令等では、本事業を進めるに当たり関係する法令等について整理し、記載しています。

7 ページ以降が、基本構想となります。

8・9 ページをお願いします。ここでは、すでに定められております、既定の事項を記載しています。

続いて、11 ページから14 ページにかけては、これまで議論を重ねてきました、「調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館の一体的な施設整備の基本構想」の内容について、「整備方針」という位置付けで記載しています。

15 ページをお願いします。配置計画ゾーニング案として、第3回と第4回検討委員会において、主に議論していただいた内容を踏まえて記載しています。

建物の配置計画案については、3案を提示させていただいた中で、様々な御意見を頂いたところです。このあとのゾーニングの内容とも関連し、今回の事業計画には、図書館若葉分館を学校施設と複合化するという計画となっていますことから、学校教育のエリアと、地域図書館のエリアの分離という視点での要素から、最終的に、提示させていただいたA案からC案の3案の内、A案を基本として、今後、具体的な配置を検討していくこととさせていただきました。

なお、提示しました3案の資料については、基本構想の本編の後の資料編のところに掲載させていただきます。

続いて、16 ページ、4、教室等の配置割りの考え方についてです。

こちらの内容については、第3回検討委員会以降、時間をかけて議論していただいた内容になります。資料に記載をしました図については、検討委員会の中で説明の際に使用した図ではなく、少しアレンジを加えたイメージを記載しました。

アレンジといっても、内容自体を修正した訳ではなく、見た目を重視しまして、各々の図形の形をアレンジしたものとなります。

続いて、17ページ、5、ゾーニング案になります。

先ほど説明しました教室等の配置割りの考え方を踏まえまして、建物の平面に落とし込んだ現時点でのイメージ図となります。

検討委員会の中では、具体的に、個々の特別教室ごとに、配置の考え方について議論をしていただいたところですが、この基本構想をまとめるという作業の中では、このような表現での記載にとどめさせていただきます。

基本構想が策定されますと、次のステップとして、基本計画の策定というステップに移行しますが、これまで議論していただいた内容や、御意見等については、次の基本計画に反映されていきますので、この点については御了承をお願いしたいと思います。

続きまして、18ページには、事業スケジュールとして、今後の予定を記載しています。

当面の目標としましては、令和6年度末までに、工事実施のために必要な詳細な設計となる実施設計を完了させたいと考えておりますので、次年度、令和4年度から6年度までの3年間で、工事実施事業者の選定及び、設計の完了まで進めていく予定となっております。

以上が、基本構想（案）の説明となります。

吉村委員長 ありがとうございます。調布市立若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館施設整備基本構想（案）について、第5回までの検討を踏まえて、最終的にこういった形で整理をしたという説明がございました。

第5回は12月でしたので、間が空きましたが、改めて、この構想案について御意見・発言等あればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。所委員。

所委員 12月の時に申しあげれば良かったのですが、12ページです。対話的・協働的な学習として多様な学習スタイルに対応した学校づくりですが、二つ目の丸、児童・生徒一人ひとりの個性を伸ばしした後、この次が生きる力・考える力・課題を解決する力を育むとなりますが、この三つある力の中で、生きる力は範囲が大きすぎるのではと思いますので、例えば、考える力・課題を解決する力、そして表現する力という様に、生きる力というのは学習指導要領の中でも全てのものに関わってくるので、ランクを一つ下げたものを加えると良いのかなと思いました。表現する力というのは、その下の一人一台端末のもとというところの一番下の丸の中でも、多様な表現活動ができる場という記載がございますので、そういうものを加えていくと良いのかな。また、思考力・判断力・表現力という形で、評価の観点がございますので、そのあたりのところで変えていくとどうかなと思いました。以上です。

吉村委員長 ありがとうございます。12ページの真ん中のところです。対話的・協働的な学習として多様な学習スタイルに対応した学校づくりの二つ目のところ。生きる力・考える力・課題を解決する力の三つが並行して並んでいます。今の御意見は生きる力は非常に大きい言い方をしているものであり、その中身として考える力や課題を解決する力があると

ということなので、生きる力というのは、ここでは入れずに考える力・課題を解決する力、加えて表現する力、この三つにして生きる力はいれなくても良いのではないかという御意見でございました。

確かに、生きる力というのは、かなり全体的に網羅している言葉なので、並べるのは少々どうかなという気もしますので、ここは少し生きる力の中身を三つ書くことでよろしいのかなと思います。皆様いかがでしょうか。

(異議なしの声)

吉村委員長 よろしいでしょうか。では、そのように事務局は修正をお願いいたします。

他はいかがでしょう。柏原委員。

柏原委員 4ページの現状での周辺環境の概略図がありますが、図書館若葉分館を明示していただくと、この基本構想自体に分館が組み込まれていますので、現状の把握というところで整合がとれるかなと思います。以上です。

吉村委員長 この4ページの地図の中に若葉分館を示した方が良いのではないかということでした。このあたり事務局いかがですか。

事務局 失念しておりました。申し訳ありません。入れます。失礼いたしました。

吉村委員長 入れた方が良いですね。ぜひ、入れてください。お願いします。

その他いかがでしょう。大野委員。

大野委員 17ページのところで、まだ全然変わると思うのですが、管理諸室ブロックが二つの階にまたがっているのは、小学校と中学校の職員室ゾーンは別れる可能性があるということでしょうか。前は、同じフロアに入れた方が良いのではないかという風にまとまった気がするのですが、どうなのでしょう。

吉村委員長 ゾーニング案のイメージ図の示し方になるのかと思いますが、どうでしょうか、事務局。

事務局 配置の考え方については、前回まで検討いただいた内容で1箇所にとめる形を考えています。今回あえて1階と2階に分けたのは、内々の資料で少し図面に落とし込んだ形で検討していた中で、どうしても1階に色々なものを持ってこなければならぬ状況になった時に、管理諸室のブロックが入らないケースも考えられました。そうすると上の階に

持っていかなければならないので、先に1階の部分にしてしまうとこれが決定事項で流れてしまうので、ここについては1階と2階のどちらかに収まる形かなとあえて二つに分けさせていただきました。どうしても平面的には制約があるので、何でもかんでも1階という訳にはいかないのですが、2階に持ってくる可能性もあるということで、このような表記にさせていただきました。以上です。

吉村委員長 大野委員、よろしいですか。

小柳委員、どうぞ。

小柳委員 2点あります。まず1点目が5ページの法令・条例等というのは、法令名や条例名を挙げるだけなのでしょうか。それとも、この先、この法律は何のために必要なのかというのが分からなくて。法律名・条例名が挙がっているだけだと、素人には何のためのこの法律なのか分からないので、もし今後、可能であれば、この法令名を明記するのであれば、何のためにこの法律を、今後この事業の計画及び実施に必要なのか分かれば、せつかく入れるのであればあった方がよいのかなと思いました。説明書きが。

2点目ですが、これは言葉なのですが、11ページの2段落目、若葉小学校・第四中学校一体型施設整備という表現があり、12ページの上の丸三つめでは、小中学校の一体的な施設の利用という表現があるのですが、一体型とか一体的なというのは、表現として今回の若葉小学校・第四中学校・図書館若葉分館の施設の整備に当たって、言葉の使い方を少し統一して表現した方がよいのかなと思います。もしくは、この場でこういったものを一体型、一体的というか定義を確認できたらよいのかなと思いました。以上です。

吉村委員長 ありがとうございます。1点目、5ページの法令・条例について、この事業を進めるに当たって、どのことを考える時に必要になる法令・条例なのか、そういったことをもし入れられるのであれば入れた方がよいのではないかという御意見でした。かなり沢山の法令・条例がありますが、当然これは今回の施設整備を考えるに当たって必要な条例になるので。工夫して入れられますか。どうでしょうか。

事務局 基本的には、こちらの法令・条例につきましては、これから行う基本計画、基本設計、実施設計と建設時に届出を出さなければならない条例等になってきますので、実際にこれを基に、プロポーザルやPFIも行っていく時に、こちらの条例は落とさないで欲しいという思いの中で入れさせていただいており、全ては設計・建設のためという意味合いになるので、そういった文言を入れるかどうかは検討させていただきたいと思います。

吉村委員長 そうすると、何のためというのは中々難しいところがあるかもしれませんね。よろしいでしょうか、小柳委員。

2点目の一体型という表記で説明しているところと、一体的な施設と表記しているところ、これは確かに統一した方が良くもありませんね。今11ページと12ページを例に挙げていただきましたが、他にも出てくるでしょうか。2箇所だけでしょうか。2箇所であれば、統一した方が良いでしょうね。

いかがでしょう。事務局。

事務局 表現について修正をしたいと思います。一体型か一体的なという点については、あくまでも小学校と中学校が一つの建物になるということを考えて、一体型が良いかなと思います。12ページについても、今まで小学校と中学校が別々であったものが、一つの一体型になるという、それを活かして小学校と中学校の連携に繋げていくとなると、建物からして一体型に統一させていただければと思います。

吉村委員長 1ページにもありますね。策定の背景の後ろから3行目にもあります。ここは一体的となっているので、これを一体型と統一する。よろしいでしょうか。

小中一貫校は施設一体型一貫校と言ったりしますね。今回の四中、若葉が目指しているものは、他の自治体では一体型と呼んでいます。

その他はいかがでしょう。所委員。

所委員 言葉の使い方ですが、12ページの対話的・協働的な学習の位置の下の丸についてです。スポーツを通じて自己達成感を得たり、次が向上心を生成することの生成するが、言葉の使い方がどうかなと思ひまして、高めたりであったり、向上心を育んだりという前も得たりで、後ろもたりが欲しいなというのと、生成するという言葉がどうかなと思ひましたので、精査すると良いかなと思ひました。

吉村委員長 12ページ。向上心を生成するという言葉の使い方をしてはいますが、生成するということはあまり聞かないですね。育むとか高める。どちらにするかは最終的には事務局で整理していただくということによろしいですか。

その他よろしいでしょうか。特になければ、今出していただいた御意見を踏まえて、最終的に整理するということになりますが、最終的な修正等につきましては、私、委員長と事務局で確認していくということで一任させていただきたいと思いますが、委員の皆様、それによろしいでしょうか。今出た意見を踏まえて最終的なものとしたしたいと思います。

(異議なしの声)

吉村委員長 それではここまでということですか。事務局何かございますか。

事務局 それでは、いくつか修正等の御意見を頂きましたので、そちらの内容を踏まえまして、基本構想の最終版、確定したものにつきましては、後日、委員の皆様へ送付させていただきます。以上です。

吉村委員長 ありがとうございます。冒頭申しあげましたとおり、6回ということで検討して参りました。今年度の目標については、この構想案を以って一定程度できたのかなと思います。

先ほどのお話で、来年度から今度は基本計画ということですので、この基本構想を踏まえて次のステップに進み、若葉小学校・第四中学校の一体型の施設、より良い施設を造っていくということになります。ありがとうございました。私も、皆様の御意見を聞いて、大変勉強になりました。ぜひ、また来年度、良い施設に向けて検討を進めていただければと思います。ありがとうございました。

これをもちまして、第6回調布市立若葉小学校・第四中学校施設整備検討委員会を終了いたします。皆様、御協力ありがとうございました。